

### 3 内閣総理大臣・外務大臣・文部科学大臣のコメント

#### ◎岸田文雄内閣総理大臣によるコメント（2024（令和6）年7月27日）

「佐渡島の金山」が、我が国26件目の世界遺産として登録されたことを心から嬉しく思います。

世界の他の地域で機械化が進む16世紀末から19世紀半ばにかけて、伝統的手工業による生産技術を極限まで高め、17世紀前半には、世界の金の約1割を佐渡島で生産していたとも言われています。このように、機械工業に比肩する大量かつ高品質な金生産を実現した「佐渡島の金山」は、世界的にも比類ない稀有な文化遺産です。

世界遺産の候補地となって以来、14年もの間、多くの皆さんが待ち望んでいた嬉しい知らせだと思えます。新潟県、佐渡市をはじめ、これまで尽力してこられた多くの地元関係者の方々に、心からのお祝いを申し上げます。

日本の宝から世界の宝となった「佐渡島の金山」を、これからもしっかりと守り、将来に引き継いでいけるよう、地元関係者の皆さんの取組を支援していきたいと思えます。

是非多くの人に、この魅力溢れる文化遺産を訪れていただきたいと思えます。国内はもちろん、世界中の様々な人々が現地を訪れ、「佐渡島の金山」の価値に触れられることを期待しています。

#### ◎上川陽子外務大臣によるコメント（2024（令和6）年7月27日）

7月27日、第46回世界遺産委員会において、我が国が世界遺産に推薦した「佐渡島の金山」が世界遺産委員会の全委員国によるコンセンサスでユネスコの世界遺産一覧表に登録されたことを誠に嬉しく思います。

「佐渡島の金山」は、世界で機械化が進む時代に、19世紀半ばの徳川幕府終焉頃まで行われていた伝統的手工業による金生産の最終発展段階を示す類い希な文化遺産として、素晴らしい価値を有しています。今般の世界遺産登録を心から歓迎するとともに、これを可能にした長年にわたる地元の皆様の努力に深甚なる敬意を表したいと思えます。今回の登録を契機として多くの方が佐渡島を訪れ、「佐渡島の金山」の世界遺産としての価値が一層広く世界に知られ、評価されることを期待します。

今後とも、外務省として、世界中の方々に我が国の世界遺産の価値の理解が進むよう、関係省庁と連携し、取り組んでまいります。

#### ◎盛山正仁文部科学大臣によるコメント（2024（令和6）年7月27日）

現在、インド・ニューデリーで開催中の第46回世界遺産委員会において、我が国が推薦していた「佐渡島の金山」について、世界遺産一覧表へ「記載」することが決議されたことを大変嬉しく思います。

「佐渡島の金山」は、世界の他の地域において採鉱等の機械化が進んだ時代に、高度な手工業による採鉱と製錬技術を継続したアジアにおける他に類を見ない鉱山の遺跡です。

今回、「佐渡島の金山」が、我が国21件目の世界文化遺産として、世界遺産一覧表に記載されたことに心からの祝意を表するとともに、新潟県・佐渡市をはじめとする地元関係者の皆様の長年にわたる御尽力に敬意を表します。

世界遺産一覧表への記載はゴールではなくスタートです。今後、地元自治体・関係者において、「佐渡島の金山」の保護に引き続き万全を期すとともに、世界中の多くの人々が現地を訪れ、その魅力に触れることができるよう、価値の発信や受入れ環境の整備等が進められることを期待しています。

文部科学省としても、引き続き、関係省庁と連携しながら、地元自治体・関係者による取組に協力してまいります。